

政策研究センター リサーチ・プロジェクト 成果報告書

提出日: 2020/2/28

申請者(リーダー): 氏名 高橋和志 職名 教授

リサーチ・プロジェクト名:
 (和文) 農業技術研修における内発的参加動機と外発的参加動機の役割とその効果
 (英文) Role and impact of intrinsic and extrinsic motivation for participation in agricultural

期間(yyyy/mm/dd): 2019/7/1 から 2020/3/31 1年間

共同研究者: 氏名 職名 所属機関・部局名 (備考)
 共同研究者1 木島陽子 教授 政策研究大学院大学
 共同研究者2
 共同研究者3
 共同研究者4
 共同研究者5

リサーチ・プロジェクトの目的

アジア・アフリカの農村経済を発展させるためには、先進的な技術に関するトレーニングが必須である。しかし、どのような方法でトレーニングを実施することが技術の採用・定着・普及という観点から見て費用対効果を最大にするのか、未だに十分にわかっていない。本研究では、特に、トレーニング参加者へ金銭を与えることの効果に注目し、よりよい技術研修方法を提言することを目的とする。

研究成果の概要(800字程度):

本年は主に以下二点が成果としてあげられる。
 第一に、リサーチプロジェクトのテーマに関連した研究レビューを行い、論文としてまとめた(成果1)。これまで農業普及は公的機関が主に担ってきたが、地理的に点在する小規模農家の全てをカバーするのが困難なため、農家の代表者がまず普及員から研修を受け、次に、地元の農家に技術を普及するという二段階の方法が見られるようになってきている。その際、地元農家の知識増加量や対象技術の普及率によって、農家代表者への謝金の変動するインセンティブ付けの方法が、経済実験の結果、有効であることがわかってきている。しかし、本プロジェクトが目指す形でのインセンティブ付けの既存研究はなく、引き続き本研究を推進していくことの重要性が確認された。
 第二に、経済実験を行うパートナーや、技術内容を特定するために、ベトナムとウガンダの二か国に出張に行った。ベトナムでは、稲作の際、殺虫剤・除草剤の多投により、環境悪化や健康被害が深刻化することが懸念されている。政府機関は、適正水準まで利用を減らすよう啓蒙しているが、消費者の安全作物へのニーズが高くなく、販売価格に差が生じないことや、生産者の労働力不足などにより、化学製品の利用を減らすのが難しい状況である。技術採用に関し、知識以外の制約が大きいため、ベトナムの農業ニーズに沿う形でインセンティブ付け実験を行うのは困難であるように思えた。ウガンダでは、難民キャンプに居住している南スーダン難民の農業普及トレーニング参加者や農業指導を行っている国際NGOに対して、研修プロセスの詳細についてヒアリングを行った。また、普及パッケージを提供しているJICA、難民キャンプのプロジェクトを統括しているUNHCR、難民キャンプの運営を担うウガンダ大統領府(難民局)など各機関をまわり、当地で実験プロジェクトが実施できるか可能性を探った。いずれも、長期的には研究協力相手となりうる可能性があるが、短期的にはリソースの問題から難しそうであった。他の可能性を探していたところ、申請者が既に十分な調査経験を持っているバングラデシュで、パートナーとなりうる機関が見つかったため、バングラデシュを対象として、今後リサーチを進めていく予定である。

研究成果:

別紙((成果報告書(研究成果一覧))に記入

その他、研究成果として特記すべき事項:

※政策研究センターのリサーチ・アシスタント(RA)雇用にて採択されたプロジェクトについては、RAを雇用したことによって得られた研究成果(例:RA氏名が記載された①論文発表、学会発表など。予定も含む。)を必ず記載してください。

(全ての項目含め、1頁以内で記述してください。)

成果報告書(研究成果一覧)

研究成果一覧:

(発表予定を含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。別紙一覧でも可。)
(必要に応じて適宜追加)

論文((学術雑誌(総合雑誌(文藝春秋、中央公論、世界)を含む。))等掲載)

※査読付きのものは、査読欄に「1」を入れてください。

※共著論文の場合には、ご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。

※国際共著とは、異なる国を拠点とする複数の研究者による共著論文を意味します。

著者	¹ 件 標題	雑誌名 /所収図書 of 編者・図書 名・出版者等	巻・号 /章・節	¹ 件 発行年	開始 ペー ジ	終了 ペー ジ	¹ 件 査読 (有=1)	⁰ 件 国際共 著 (yes=1)	DOI	⁰ 件 オープン アクセス (yes=1)
1	Takahashi, Kazushi, Rie Muraoka, and Keijiro Otsuka.	Technology Adoption, Impact, and Extension in Developing Countries' Agriculture: A Review of the Recent Literature	Agricultural Economics	51・1	2020	31	-45	1	10.1111/agec.12539	
2										
3										
4										
5										

図書:

※共著の場合にはご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。

※書籍の一部分のみを執筆した場合には論文の区分に含めてください。

著者・編者	⁰ 件 図書名	出版社	発行年月	総ページ数
1				
2				
3				
4				
5				

口頭報告・学会発表等:

※査読付きの学会論文集は「論文の区分」で報告し、査読なしの学会論文集は「学会発表の区分」で報告してください。

※招待講演については、学会等名の後に(招待講演)と明記してください。

報告者等	⁰ 件 論題	学会・研究会名等	報告年月日	開催場所
1				
2				
3				
4				
5				